

No. 13	提 案 名 : 「Eco&Art フェス IN 大通り」 展開によるまちなかの賑わい創出	
	提案団体名 : 宇都宮共和大学シティライフ学部内藤マーケティング論ゼミ	
	所 属 : 宇都宮共和大学シティライフ学部	
	代 表 者 : 北川竜	指 導 教 員 : 内藤英二
メンバー	中山奈津希 伊東大輔 植竹空 竹内凌 讃岐志祐 田中真衣 菊地隆 今村詠美 四家舜葵 グエンティフォン ルオンスアンドン グエンティズン	

## ○ 提案の要旨

内藤マーケティング論ゼミの研究テーマ  
市内大通りに面した宇都宮シティキャンパスの施設を活用して、周辺地域のまちづくりのために何が出来るか考え、実行する。

今回の提案テーマ  
まちなかクールシェアコンサートを土台に環境と芸術を組み合わせ  
たイベントを考え、宇都宮の賑わい創出する。

モデルイベント開催実験  
8月20日宇都宮共和大学シティライフ学部  
でクールシェアコンサートを実施。パフォー  
マンス面のイベント内容を検証

ニーズ調査・開催場所のリストアップ  
市内のアート系団体等にニーズ調査を依頼。現状困  
っている事や、イベントに際しのニーズ等や開催場  
所の候補を大通り付近でリストアップする。

### 施策事業の概要

- 1 フェスで展開するイベントはパフォーマンス（実演）エキシビション（展示）ワークショップ（体験）の3種類を想定し、開催期間は8月から9月までの毎週末5週間計10日間。1日に3種類のイベントを、開催し、計30のイベントを開催する。
- 2 イベント開催中は太陽光発電で蓄電した再生可能エネルギーを利用することや、ごみの分別などSDGsへの取り組みを行い、環境に配慮したイベントにする。
- 3 運営主体の学生の人員確保には、TMOを用いて学生ボランティアを募る。

### 提案のねらい（目標）

- 1 宇都宮市内で活動するアートサークルの活動の成果を発表する機会を作る。
- 2 LRTにより盛り上がる東口だけではなく、西口でも面白いイベントを開催し、賑わいを創出する。
- 3 学生・行政・市民・地域企業が協力することで地域の繋がりを強くする。

## 1. 提案の背景・目的

宇都宮共和大学シティライフ学部では、2014年から2022年までの間、15回に渡り、「まちなかクールシェアコンサート」を開催してきた。このコンサートを土台とし、従来、日程的にも、場所的にも『点』としての開催に過ぎなかった「まちなかクールシェアコンサート」のようなイベントを Eco と Art という共通のテーマのもとに、大通り周辺地域で、『面』として、比較的長い期間、多彩なジャンルで、定期的を開催するイベントを作る事を考えた。

また、このイベントの目的としては、これまで「まちなかクールシェアコンサート」に参加して下さった、ご町内オールスターズのアート系団体以外にも、市内には多くのアート系団体が活動をしていることから、それらの団体の活動の成果を発表する場所としてのイベント、運営主体に学生はもちろんのこと、行政や地域住民、地域企業が加わり協力することで、つながりを強化し、宇都宮のまちの賑わいを創出し、宇都宮という地元を誇りに思う人が増えることを期待している。

## 2. 提案の目標・課題「私たちから始めよう にぎわいアクション」との関連

宇都宮共和大学シティライフ学部でこれまで開催してきた「まちなかクールシェアコンサート」では内藤マーケティング論ゼミの学生を中心として、学生主体でコンサートの運営を行ってきた。今回の提案課題「私たちから始めよう にぎわいアクション」はこれまでイベントを行ってきたノウハウを活かせると考えた。

### 『クールシェア』

クールシェアとは、一般家庭の電力消費がピークを迎える午後に、エアコンを止めて外出し、空調の効いた公共の場などで涼しさを分かち合おうという、省エネ・地球温暖化防止の為の活動の1つ。宇都宮共和大学シティライフ学部ではキャンパス周辺地域で活動するアート団体の日頃の成果を発表する場が欲しいとの要望により、2014年から「まちなかクールシェアコンサート」を開催している。また、イベント開催時には、節電効果測定実験も行っている。2022年に開催した「まちなかクールシェアコンサート」では、一般家庭の在宅時の夏の午後2時の電力消費量に占めるエアコンの割合58%から1時間当たりのエアコンの消費電力を0.6kwとし、コンサート参加者116人全員が自宅のエアコンを止めて参加したと仮定して節電できた電力を試算した結果、 $0.6\text{kw} \times 116 \text{人} \times 3 \text{時間}$ （コンサート開催時間）で計算すると、208.8kwの電力が節電できたことが分かった。また、コンサート内の一部では、ソーラーパネルで蓄電した電力を使い、BGMの再生も行った。



図1 クールシェアコンサート

### 3. 現状分析

#### 3.1 ニーズ調査

##### (1) 宇都宮市内のアート系サークル団体にニーズ調査を実施

表1 市内アート系サークル団体ニーズ調査の結果 有効回答の一部を抜粋

	団体人数	活動日数・時間	活動場所	活動内容	困っていること
A	100人	それぞれ	それぞれ	書の作品制作	メンバーの高齢化、展覧会の会場が限られている、駐車場のある会場が少ない
B	50人	毎月第一木曜日 10時～12時	東コミュニティセンター	健康講座・童謡・抒情歌を歌う	会員の高齢化、宇都宮の町おこしに「クラシック音楽の街」「歌声の街」が根付くことを願う
C	240人	それぞれ	総合文化センターギャラリー	書の作品制作	会員の減少、魅力ある事業がない
D	5人	不定期	ホール・会場・レストラン等	ヴァイオリンの演奏活動	町中の高齢化により、イベント参加のための足がない、ピアノを置けるスペース会場が少ない、クラシック音楽は敷居が高いと思われる
E	10人	毎週土曜日 13時～15時	宇都宮市屋板町	ハーモニカ合奏	コロナ禍による活動制限、若者がいない
F	7人	第2・4月曜日 午前	西生涯学習センター	組紐の勉強会	趣味の多様化・コロナによる活動制限、気軽に使用できる展示スペースが少ない、若い人に周知したい
G	20人	最終日曜日 10時～15時	明保野総合コミュニティセンター	水彩画教室	高齢化により交通手段がない、教える人・学ぶ人が多忙により文化を育てる環境がない

##### (2) 調査目的

10月の一か月間、市内で活動するアート系サークル団体にイベントを開催するにあたってどのようなことに困っているか、このイベントをやることで宇都宮の賑わいを創出するイベントにつながるのか、ニーズを調査するために、このアンケートを行った。

##### (3) 調査方法

調査対象は市内で活動しているアート系サークル団体に絞り行った。

まず、これまでまちなかクールシェアコンサートに参加して下さったご町内オールスターズ7団

体と宇都宮市データベース「マナビス」よりアンケートの送付が可能な連絡先のあった 60 団体を抽出し計 67 の団体に郵送にてアンケート調査表を配布した。アンケート調査の回収には FAX を用いて回収を行い有効回答 21 件を回収した。

図 2 アンケート調査票見本

※Q1.あなたが所属するサークル・団体について、お教えてください。 ※

サークル・団体名 ※	※
サークル・団体人数 ※	※
活動日数・時間 ※ 毎週の曜日と△時間など ※	※
活動場所 ※	※
活動内容 ※	※
演奏会、展示会、教室等の 参加、開催の有無 ※	※
大会・コンテスト等への ※ 参加・出場経験・受賞歴 ※	※

※

Q2.活動を続けていく上で、困っていること、問題となっていることは何ですか? ※  
(ご自由にお書きください) ※

※

アンケートは以上です。ご協力いただき誠にありがとうございました。 ※

#### (4) 調査結果

約 1 か月の調査期間の中で、67 の団体にアンケート調査を依頼し、有効回答として約 3 分の 1 の回答を回収することができた。表 1 ではその回答の中から、一部を抽出して載せたものである。表 1 の結果を見ると、多くの団体で、会の高齢化、会の中に若い世代がおらず、活動を続けていくことが今後困難になることを危惧していることがわかった。また、A・F の団体は、作品を気軽に展示できる場所を探していることがこのニーズ調査からわかった。大通り周辺の地域には今は使われなくなった空き店舗が数多くあるので、そういったところを活用していければ、展示スペースを確保していけるのではないかと考える。B・D 団体からは、クラシック音楽を宇都宮のまちに広げていきたいという要望もあった。宇都宮共和大学シティライフ学部では、夏と冬に「まちなかクールシェアコンサート」「まちなかクリスマスフェスタ」などを開催し、ピアノやヴァイオリンの演奏を市民の皆様に触れていただく機会を創出しているが、演奏を聴くだけで実際に楽器の演奏を体験する機会をこれまで行ってこなかったのが、「Eco&Art フェス」のイベントでは、ワークショップという形で、体験教室を行いたいと考えている。C・G の団体からは、魅力ある事業が少ない、文化を育てる環境がないとのご意見もあった。今回ニーズ調査を行ったのは、MANAVIS から、イベントに関連のある団体を検索し、連絡可能な団体に絞って調査を行ったが、検索結果だけで、300 以上の団体があった。その団体にもこのイベントはニーズがあると考えられる。また、調査を行った団体の中にも、高齢化やコロナにより活動を終了してしまった団体があることもわかった。このことから市内にはこれらの団体が活動成果やアピールできる場所がないことがわかった。このニーズ調査を行ったことで、この「Eco&Art フェス」のイベントを行う意義としての役割があることに気付いた。団体の活動に興味を持つ人が増え、文化をはぐくむ人々が増えることは、高齢者だけで活動していた団体に、若い世代が加わり、活動を続けることができ、多くの人に活動を周知できるのではないかと考える。その結果、宇都宮のまちに賑わいの創出を期待するとともに、そうなるようにこのイベントを私たちから始めるというアクションを起こさなければいけなとこのニーズ調査を通して感じた。

## 3.2 イベント会場候補地のリストアップ

### (1) 調査目的

今回の提案では大通り周辺の地域でイベントを開催するという提案だが、その背景には開催の拠点となる宇都宮共和大学シティライフ学部がこの大通りに立地しているというのが大きな点である。その為この大通り周辺地域でイベントが開催できそうなスポットを探すことにした。

### (2) 調査方法

大通り周辺でこれまで音楽ライブやアート系団体の展示会等を開催した経験のある場所や、イベントができそうな会場をインターネット上で検索した。

### (3) 調査結果

会場の候補地にはイベントで行う内容に合わせて、3種類の内容ができる会場候補地を探した。その会場がこれまで行ってきたイベントからどの内容にふさわしいかを考えた。ニーズ調査を行った団体からは、宇都宮共和大学一階ガラス張り部分のエントランスホールを使いたいなどという要望もあった。

#### ①パフォーマンス会場候補地

宇都宮共和大学シティライフ学部、サムライ寿限無、寿限無担々麺、栃木県庁、宇都宮市役所、宇都宮城址公園、HEAVEN'SROCK 宇都宮、STUDIOKENT、二荒山神社、栃木県総合文化センター、宇都宮市立星が丘中学校、宇都宮市立昭和小学校、松が峰教会、宇都宮ヒカリ座、オリオン通り、石の蔵、道の駅うつのみや ろまんちっく村

#### ②エキシビション会場候補地

宇都宮共和大学、ACプラザ、宇都宮市オリオン市民広場、宮サイクルステーション、上河内地域交流館、東地域コミュニティセンター、柳瀬地域コミュニティセンター、中央地域コミュニティセンター、西地域コミュニティセンター、栃木県庁、宇都宮市役所、宇都宮城址公園、二荒山神社、東武宇都宮百貨店、オリオン通り

#### ③ワークショップ会場候補地

宇都宮共和大学、栃木県青年会館コンソール、宇都宮市オリオン市民広場、上河内地域交流館、栃木県庁、宇都宮市市役所、東武宇都宮百貨店、ザ・グランドスパ南大門、宇都宮市立星が丘中学校、宇都宮市立昭和小学校

これらの施設を私たちがフェスを開催する際に、会場として使用したいと検討している。会場候補地の中には、宇都宮市内に9つあるまちの駅ネットワークも使いたいと考えている。これらの施設の近くには、飲食店も数多くあるため、周辺地域の飲食による経済効果も期待できるのではないかと考える。また、宇都宮城址公園や松が峰教会などは、宇都宮市の歴史や文化に触れられる場所でもあり、会場にすれば、宇都宮に興味を持つ人が出てくるのではないかと考える。

これらの地域以外でも大通り周辺には空き店舗となっている施設、更地となり使われていない空き地等が多くあるため、それらの地域を会場とすることや、参加者のニーズにあった、駐車スペースが無いという問題の駐車場として利用できるのではないかと考える。

宇都宮駅から大通り周辺は徒歩10分ほどでたどり着ける近い距離にあり、宇都宮駅の二階から大通りを眺めることもできるので、そこから大通りでフェスを開催することで、多くの人に訪れてもらえるイベントになるのではないかと期待する。

## 4. 施策事業の提案

### 4-1 シミュレーションとしてチラシの制作



### スケジュール

	パフォーマンス	エキシビション	ワークショップ
DAY1 8/5 土	ヴァイオリン演奏会 栃木県総合文化センター	パッチワーク展示 栃木県総合文化センター	押し花教室 栃木県総合文化センター
DAY2 8/6 日	和太鼓演奏会 ロマンチック村	木版画作品展 東地域コミュニティセンター	油絵教室 上河内地域交流館
DAY3 8/12 土	市民寄席 サムライ寿限無	押し花作品展 宇都宮オリオン市民広場	ちぎり絵 宇都宮市立昭和小学校
DAY4 8/13 日	ハモニカ演奏会 宇都宮市役所	油絵作品展 宇都宮市役所	日光彫教室 宇都宮市役所
DAY5 8/19 土	まちなかクールシェアコンサート 宇都宮共和大学	ちぎり絵作品展 宇都宮共和大学	みや灯籠 宇都宮共和大学
DAY6 8/20 日	合唱祭 松が峰協会	日光彫作品展 築瀬地域コミュニティセンター	布ぞうり教室 ザ・グランドスバ南大門
DAY7 8/26 土	ピアノ演奏会 栃木県庁	布ぞおり作品展 栃木県庁	水墨画教室 栃木県庁
DAY8 8/27 日	詩舞詩吟大会 宇都宮城址公園	水墨画作品展 中央地域コミュニティセンター	絵手紙教室 東武宇都宮百貨店
DAY9 9/2 土	歌声コンサート 石の蔵	絵手紙作品展 宇都宮教育センター	写経入門 西地域コミュニティセンター
DAY10 9/3 日	バンドライブ 二荒山神社	写経展示会 二荒山神社	組紐教室 二荒山神社

図3 イベントのチラシ（シミュレーション）

#### (1) 「Eco & Art フェス IN 大通り」シミュレーション～イベント内容～

フェスで展開するイベントは3種類を想定。1つ目は、楽器の演奏や舞踊などを行うパフォーマンス。2つ目は、書道や絵画の展示を行うエキシビション。3つ目は、この2つに関連した体験教室や実習ができるワークショップを開催する。開催期間は8月から9月までの学生の夏季休暇中の間、毎週末計10日間開催する。1日の開催で3種類のイベントを1つずつ開催し、10日間で計30のイベントを開催する想定。また、イベント内では、飲食スペースを設けて、経済効果も期待する。



パフォーマンス



エキシビション



ワークショップ

図4 イベント開催風景 宇都宮共和大学シティライフ学部の場合

### (2) 「Eco&Art フェス IN 大通り」シミュレーション～運営主体～

このイベントの運営主体には学生・行政・地域企業・地域住民を考えている。各それぞれが運営主体として参加するメリットとしては、学生は、このような地域や行政と関わり合いながらイベントの運営を行うという経験は、社会に旅立つ準備段階の学生期間にとってとても価値のある有意義なことであると考えます。また、私たちは学生のボランティア集めの一環として TMO インターンシップを行いたいと考えています。

TMO とは、タウンマネジメント機関のことで、中心市街地における商業まちづくりを運営・管理する機関のこと。TMO になれるのは商工会議所・第三セクター等とされた。TMO を行うメリットとしては、これまで民間企業や行政が行ってきた空き店舗対策や街の景観維持の活動、各種イベントをそれぞれで行うのではなく、TMO が一体的にかつ一元的に行うことでまちづくり全体のコーディネーター・サポーターとしての役割が行え、より効果的なまちづくりの推進を図ることができるようになる。私たちはここに学生インターンシップをつけることでやる気溢れる学生の成長・勉強の機会をはぐくめるのではないかと考えた。また、その結果、行政や地域企業のメリットとして、会社で働く姿を見せるインターンシップよりもより学生一人一人の内面や性格を観察することができるという利点がある。TMO で、行う事業資金は、国・県・市や各種団体、商業者及び市民等からの出資・助成（補助）という形で財源を集めていくこととなる。その為、他の地方自治体においても中々資金が集まらず、TMO の進みは止まってしまっているが、TMO で行う各種イベントは、中心市街地の活性化などに使われるため、必ずその地域内で使われるのでより地域の環境にあった形で運営や管理がされている。

また、宇都宮市は現在、餃子のまち・カクテルのまち・自転車のまちとして県内外にアピールしているが、ここにエコ&アートフェスが加わることで、新しい宇都宮の魅力が生まれ、より管内外にアピールするチャンスが生まれるのではないかと考える。

### (3) 「Eco&Art フェス IN 大通り」シミュレーション～SDGs への取り組み～

すべてのイベントにおいて太陽光発電で蓄電した再生可能エネルギーを一部使って行きたいと考える。今年の夏に開催した「まちなかクールシェアコンサート」においてもイベント内の宇都宮市環境部環境政策課によるもったいない運動周知活動の一環である「もったいない係長ミヤリー」による「もったいない体操」の BGM 音源再生にソーラーパネルで発電した電力をお活用した。実施時間は5分程度で、電力消費量は1%ほどであったため、「エコ&アートフェス」開催の際は、フル充電の場合、開催日の音響やマイクの使用電力に使えるのではないかと考える。また各個人

や、企業、市などが所有しているソーラーパネルなども借りたいと考えている。これは、イベント内で使用したいという目的と災害時に有効に使えるかどうかを点検・整備することが可能になるというメリットもある。また、イベント内で出るごみについては一人一人が分別に協力するなどという形でSDGsへの取り組みもしていきたいと考える。



図5 ソーラーパネル

#### (4) 施設・設備の協賛

イベント会場候補地リストアップの作業の過程では、会場となる各種の施設に対して「施設・設備の協賛」を呼びかけるというアイデアも生まれた。

シティライフ学部の学生は、田川や大谷地区、トナリエ、ペDESTリアンデッキなどで、賑わいの創出を目的とする各種のイベントを企画、運営してきているが、その準備段階として市内の企業や団体への協賛金の協力依頼がある。

多くの企業や団体を訪問して協賛を依頼する作業は私たちにとって、イベントの企画・準備の段階で大きな負担になっており、このことは直接、協賛金を負担する企業や団体にとっても同様である。

そこで、「Eco & Art フェス IN 大通り」では、イベント会場を提供してくださる施設や設備を保有し、管理・運営している企業や組織に対して、協賛金の代わりに施設のイベント使用中の空間と時間を協賛していただくというお願いをすることを考えている。具体的にはイベント会場として使用する施設や設備の使用料、賃貸料の全額あるいは一部を協賛という形で提供してもらう。

市内アート系団体・サークルのニーズ調査では、活動継続のために実演、展示、教室等の活動を実施するための施設が見つからないという意見が見られているので、フェスをきっかけとして、市内の各種団体・サークルが活動のための新しい施設を知ることができ、施設・設備を協賛してくれた企業や組織としては、新しいユーザーを発掘する機会にもなるのではないかと考えている。

#### 【参考文献】

宇都宮市 人材かがやきセンター：MANAVIS-宇都宮市生涯学習情報提供システム,団体・グループ, <https://manavis-utsunomiya.jp>,2021年。(2022年9月15日)

Wikipedia：タウンマネジメント機関－Wikipedia,タウンマネジメント機関, <https://ja.wikipedia.org/wiki>,2005年。(2022年11月8日)

株式会社都市構造研究センター：タウン・マネジメント機関（TMO）とは？, TMO(タウン・マネジメント・オーガナイゼーション)って、何だ？, [http://www.usrc.co.jp/japan/tmo\\_why.htm](http://www.usrc.co.jp/japan/tmo_why.htm),2000年。(2022年11月8日)